

初めて実施し、好評を博しました 女性限定KYT（危険予知訓練）研修会を

職場のヒヤリ・ハットや事故災害の多くが、人的なエラーによるもの。当法人では6月20日(水)、東京・御茶ノ水にて、危険予知活動の活発化に向けたKYT一日研修会を開催しました。中央労働災害防止協会の寺村恵美子氏と石松みずぎ氏を講師にお迎えし、実技を交えながら、現場での危険回避のポイントを教えていただきました。

現場にひそむ危険因子を事前に確認、回避！

KYT、すなわち危険(Kiken) 予知(Yochi)訓練(Training)は、職場の安全管理のために欠かせません。この研修会は、「危険への感度」「問題解決能力」「安全への実践意欲」を高め、個々の企業で安全な職場づくりに役立てられるようになることを目的にしています。そこで、持つべき視点を、具体的な実技・グループワークを中心に学びます。

当法人では、各地でKYT研修会を実施してきました。中小企業の現場で働く人は、この研修会参加者と同様に男性が多かったですが、ここ1～2年で女性が増えてきました。これを受けて、30年近く続くKYT一日研修会を初めて、女性限定で実施。女性は感受性が強くコミュニケーションが得意なため、危険をいち早く察知し、積極的な呼びかけができると期待されています。

KYT(危険予知訓練)の研修内容

- * 指差し唱和
- * 職場のヒヤリ・ハットに関するグループワーク
- * 講義「職場の安全活動とは」
- * 健康KY(Kiken Yochi)
- * KYTの基本手法
「KYT基礎4ラウンド法」 など



講師
寺村
恵美子氏

中央労働災害防止協会 教育推進部の、寺村氏は専門役、石松氏は教育・調査課課長補佐。ゼロ災害・ゼロ疾病を目標とした研修・講演会などに取り組む。



講師
石松
みずぎ氏

女性の職員も現場の仕事が増え、危険予知の項目に広がり！

今回は参加者が女性限定ということで、講師も女性が担当。その一人である寺村恵美子氏は「職場の一人ひとりがかげがエノナイ人」という人間尊重の理念のもと、職場環境だけでなく、そこで働く全ての人が高い安全意識を持って行動することが大切だと話します。

グループワークでは、危険因子は気のゆるみや小さな油断など、人的な部分にも潜んでいることが浮き彫りに。力に頼りがちな男性に比べて、女性は作業に集中しすぎることで視野が狭くなる傾向にあるようです。女性同士で気軽に意見交換することで、新たな気づきが得られたという感想が多く挙がりました。



それぞれが自分の職場を思い浮かべながら、グループワークに臨みました。

女性が注目する危険ポイントがありました！

女性が職場の危険因子を書き出してみると…

今回の研修会では、ブラインド清掃をする作業者のイラストを見ながら、どのような危険がひそんでいるか、意見を出し合うワークをしました。「足元を見ずに移動して、床のバケツにつまずいて転んだ」「よろけたはずみでブラインドをつかんで手を切った」など、「目の前のことに集中して気付かなかった」タイプの危険因子が挙げられました。過去、男性だけのチームに運送業の現場のイラストを使い同様のワークを行うと、「たくさんの荷物を持ったため」「荷物の取り出しの際、勢いをつけすぎて～」など“力の過信”による危険因子が多数。これが男女の違いなら、両視点を取り入れ、より安全管理を確かなものにできるのではないのでしょうか。

女性同士打ち解けた雰囲気での研修が進められました

今回の参加者は、34名の女性たちです。建設業や製造業、自動車整備、イベント関連などのサービス業と、多種多様な現場で働く女性が集まり、それぞれが自分の働く現場を想定して、実技やグループワークを行いました。お互いの職場で起こったヒヤリ・ハットを共有して、驚きの声がかかる場面も。

はじめは緊張した顔も見られましたが、次第に打ち解けて、楽しみながらもテキパキと進行する様子は、女性限定の研修会ならではの光景だったようです。

「初めての女性限定研修会でしたが、女性は男性に比べて指示を実行したり、意見をまとめたりするのが早いように感じました。KYTは男女関係なく必要なもの。これからの職場の安全管理に女性らしい柔軟な思考が役立つことは間違いありません」と、寺村氏。

参加者の中には、管理職の立場にいる女性も多く、男性だけでなく、女性の目線を加え職場の安全を見直すことがより安全性を高めるとわかった、実りある研修会になりました。



本当の職場の仲間のよう、スムーズにできました！

研修会のはじめと終わりは、指差し唱和で気持ちを引き締めます。

参加者 VOICE

- 参加してよかった？

Yes…96.7%

- 特に勉強になった点は？

ロールプレイング・グループワークによる実技…86.7%
KYTに使用される用語解説…13.3%

- 女性限定でよかった点は？

意見が出やすかった…54.1%
女性同士で意見交換ができた…40%
コミュニケーションをとりやすかった…2%

- 同じ職場・職種の女性にすすめたいですか？

Yes…90%

- すすめたいポイントは？

女性限定なので雰囲気もよくてやりやすかった。(48歳)

自分が思っていた以上にKYTは奥が深いということがわかった。今までのKYTの意識の低さを反省した。(38歳)

実践形式で体験できたところが大変わかりやすかった。(53歳)

どなたでも参加できる通常のKYT(危険予知訓練)一日研修会を行っています。次回は浜松にて10月24日に開催。詳しくは本誌22ページをご参照ください。

平成30年度(第69回)全国労働衛生週間が10月1日～7日に実施されます。取組みツール“ポスター”をご利用ください

全国労働衛生週間とは…

厚生労働省と中央労働災害防止協会が中心になって、労働衛生(職場での健康管理や環境改善など)への意識を高めることや、労働者の健康確保のための各職場での自主的な活動を促すことなどを目的に設けられた期間です。

毎年10月1日から10月7日までを本週間として、昭和25年から実施されており、今年で69回目を迎えます。9月1日から9月30日までは準備期間となり、全国の組織で労働衛生についての講習会などが開かれます。

あんしん財団は安全衛生活動を応援しています

当財団は、年間を通してセミナーや講演会などを実施し、安全衛生活動を応援しています。

ポスターは
今月の付録です！

